

教養を身につけよう

児玉克順 学研プラス



①「世界でいちばんやさしい教養の教科書」
先人の思考を学ぶことは今や未来を生き抜くヒント。歴史、哲学、経済、社会、芸術など、各分野の教養を時系列によってストーリー化。たくさんのイラストやキーワード解説を駆使して、わかりやすく解説する。

ほっこり 癒しを求める本

古内一絵 中央公論新社



⑥「マカン・マラン二十三時の夜食カフェ」
元エリートサラリーマンにして、今はド派手なドラッグクイーンのチャールが、深夜にしか営業しない不思議なお店。そこで提供される料理には、優しさが溶け込んでいて…。じんわりほっこり、心があたたかくなる4作品を収録。

裏切りも楽しい 大どんでん返し



湊かなえ 講談社

⑩「リバース」
平凡なサラリーマン、深瀬和久の趣味はコーヒーを飲むこと。その縁で、美穂子という彼女もでき、人生に彩りが添えられると思った。だが、「深瀬和久は人殺しだ」と書かれた告発文が送りつけられ…。



ハンス・ロスリング 日経BP社

②「FACTFULNESS」
賢い人ほどとらわれる10の思い込みから解放されれば、癒され、世界を正しく見れば、スキルが身につく。データや事実にも慣れず、世界を正しく読み解く習慣。「ファクトフルネス」を紹介する。



青山美智子 宝島社

⑦「木曜日にはココアを」
僕が働く喫茶店に、木曜日に同じ席でココアを頼む不思議な常連さんがいる。ある木曜日、その女性の様子がおかしくて…。東京とシドニーをつなぐ12色の物語。



相沢沙呼 講談社

⑫「メディウム」
推理作家として難事件を解決してきた香月史郎は、心に傷を負った女性、城塚翡翠と出逢う。彼女は霊媒であり、死者の言葉を伝えることができるが、そこに証拠能力はない。一方、巷では姿なき連続殺人鬼が人々を脅かして…。



斉藤孝 文響社

③「1日1ページ読むだけで身につく日本の教養」
自然、歴史、文学、科学、芸術、伝統文化、哲学思想。1週間で7分野。1日5分だけ、自身の教養を耕す時間にあてよう。日本を知るために必要な知識を1年分収録する。



川口俊和 サンマーク出版

⑧「コーヒーが冷めないうちに」
結婚を考えていた彼氏と別れた女、記憶が消えていく男と看護師、家出した姉とよく食べる妹…。過去に戻れる喫茶店「フニクリフニクラ」を訪れた4人の女性たちが紡ぐ、家族と、愛と、後悔の物語。



行成薫 集英社

⑬「名も無き世界のエンドロール」
俺とマコトは小学校時代からの腐れ縁だ。マコトは昔からドッキリを仕掛けるのが生き甲斐で、社長となった今も変わらない。そんなヤツが、史上最大の「プロポーズ大作戦」を実行すると言い出して…。



斉藤孝 SBCクリエイティブ

④「読書する人だけがたどり着ける場所」
毎日情報に触れているのに、知識が深まらないのはなぜか? 「読書が人生の深みをつくる」との前提のもと、ネットやSNSも活用しながら、どんな本をどう読むかを伝える。



小川糸 ポプラ社

⑨「食堂かたつむり」
衝撃的な失恋のあと、倫子は故郷に戻り、実家の離れで食堂かたつむりを始めた。ここの料理を食べると、恋や願い事が叶うというまことしやかな噂とともに、食堂は評判になるが…。



道尾秀介 講談社

⑭「カラスの親指」
詐欺を生業とする中年2人組の生活に、1人の少女が舞い込んだ。2人は戸惑うが、同居人はさらに増え「他人同士」の奇妙な共同生活が始まった。失くしたものを取り戻すため、過去と訣別するため、彼らが企てた大計画とは!?



池上彰 東洋経済新報社

⑤「僕らが毎日やっている最強の読み方」
池上彰、佐藤優のように自分の力の中で読解するには。新聞、雑誌、書籍の読み方からスマホ、SNSなどネットの使い方まで、2人の全スキルを紹介する。人から情報を得る7つの極意も明かす。



三島有紀子 ポプラ社

⑩「しあわせのパン」
物語の舞台は北海道の小さな街にある宿泊施設を備えたパンカフェ「マーニ」。店を訪れる客は皆、心に傷を負っている。彼らをもてなすのはカフェオーナーの水鏡夫婦である。美味しいお料理と、焼きたてのパン、コーヒーが客たちの心に優しく染み渡る。



伊坂幸太郎 新潮社

⑮「ホワイトラビット」
その夜、街は静かだった。高台の家で、人質立てこもり事件が起こるまでは…。仙台で発生した人質立てこもり事件。SITに所属、宮城県警を代表する優秀な警察官も現場に急行し、交渉を始めるが…。予測不能の籠城ミステリー。